

平成28年
熊本地震に係る被災地支援
— 医療救護班活動報告 —

平成28年11月27日

社会医療法人 あいざと会 藍里病院

看護師長 前田 和美

平成28年熊本地震 発災



平成28年熊本地震

4月14日 21:26 「前震」

熊本県：益城町

震度7 マグニチュード 6.5

4月16日 1:25 「本震」

熊本県：益城町、西原村

震度7 マグニチュード 7.3

(気象庁情報：平成28年4月21日7:00現在)

平成28年熊本地震 発災時

九州で強い地震が相次ぐ

家屋倒壊

土砂崩れ

道路の隆起・陥没

阿蘇大橋崩落

国道は土砂で埋まり全く行き来できず

救助活動困難

第7班 医療救護班（最終班） 7名

派遣期間

平成28年5月8日 ～ 5月12日 4泊5日

メンバー

県立三好病院	医師	1名
	看護師	1名
	理学療法士	1名
	業務調整員	1名
ホウエツ病院	看護師	1名
ぐんも調剤薬局	薬剤師	1名
藍里病院	看護師	1名

医療救護班（行程・交通移動手段・宿泊）

行程

往路：徳島空港 → 福岡空港

復路：福岡空港 → 徳島空港

現地での交通手段

レンタカー（福岡空港～阿蘇内牧温泉）

現地での移動手段

公用車（徳島大学病院・徳島県医師会）

宿泊

阿蘇内牧温泉 大観荘（福岡県阿蘇市）

アークホテルロイヤル福岡天神（福岡市）

平成28年熊本地震 派遣時の状況



平成28年熊本地震 派遣時の状況

人的被害（熊本県）

死亡	49 人
重症	342 人
軽傷	1,249 人

住宅被害（熊本県）

全壊	2,654 棟
半壊	4,193 棟
一部破損	26,920 棟

（消防庁 5 月 11 日 11:00 現在）

平成28年熊本地震 派遣時の状況

避難の状況（熊本県）

避難指示	192世帯	447名
避難勧告	21,091世帯	56,241名

（消防庁情報：5月11日10:00 現在発令中のもの）

避難所の状況

熊本県 257箇所 12,099名

（5月10日13:30現在）

平成28年熊本地震 派遣時の状況

電力 停電戸数 0 戸

ガス 供給停止戸数 0 戸

(経済産業省情報 : 5 月 11 日 9:00 現在)

水道 熊本県 4 町村で 816 戸が断水

家屋等損壊地域 (約 4,050 戸) を除く

(厚生労働省 5 月 11 日 9:00 現在)

下水道 : 一部で被害があるが機能は確保

(国土交通省 5 月 11 日 6:00 現在)

応急給水を実施 12 台 (5 月 11 日 9:00)

平成28年熊本地震 派遣時の状況

医療施設

建物損壊のリスクがある医療機関	8 カ所
ライフライン（電気、ガス、水道）	
供給に問題のある医療機関	0 カ所
問題ない医療機関	1 2 3 カ所
連絡が取れない医療機関	0 カ所

熊本周辺の主要な医療機関について、被災が想定され、厚生労働省で直接確認（厚生労働省情報：4月30日 17:00 現在）

病棟の損壊等により、入院診療に制限がある病院 12 病院
（厚生労働省情報：5月17日時点）

平成28年熊本地震 派遣時の状況

土砂災害（熊本県）

土石流等	51件	地すべり	9件
かけ崩れ	34件		

（国土交通省情報：5月11日6:00現在）

道路（被災による通行止め）

熊本県 25区間

落石、橋梁段差、路面段差、家屋崩壊、橋梁
ひび割れ、橋梁ずれ、法面崩落、落橋覆工、
コンクリート崩落、路肩崩壊、路面陥没

（国土交通省情報：5月11日6:00現在）

平成28年熊本地震 派遣時の状況

地震活動の状況

8日0時～24時0回

9日0時～24時0回

10日0時～24時0回

11日0時～24時0回

12日0時～24時1回

震度4以上の地震の発生推移（気象庁5月13日7:00）

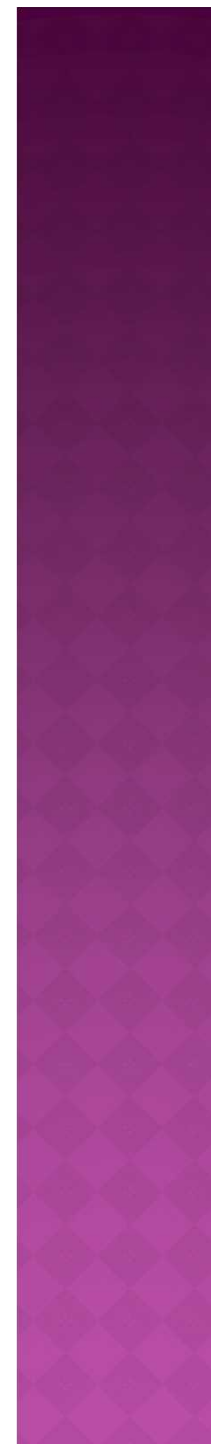
震度1以上を観測する地震 1,379回発生

（気象庁 5月11日11時現在）

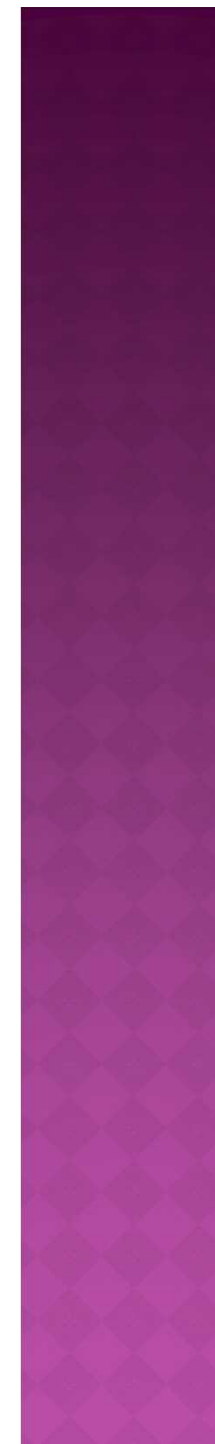
平成28年熊本地震 派遣時の状況



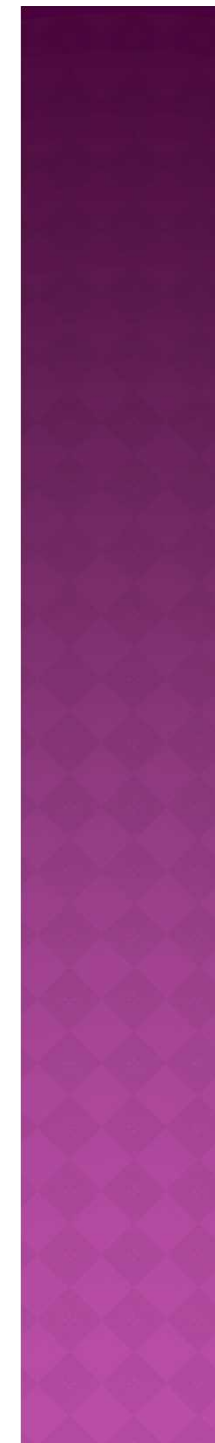
平成28年熊本地震 派遣時の状況



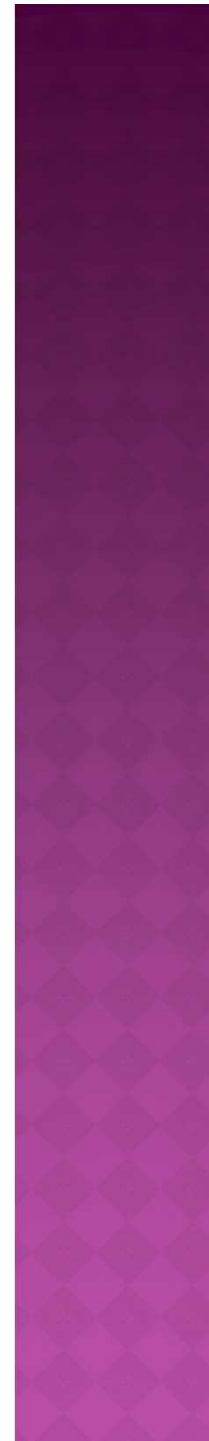
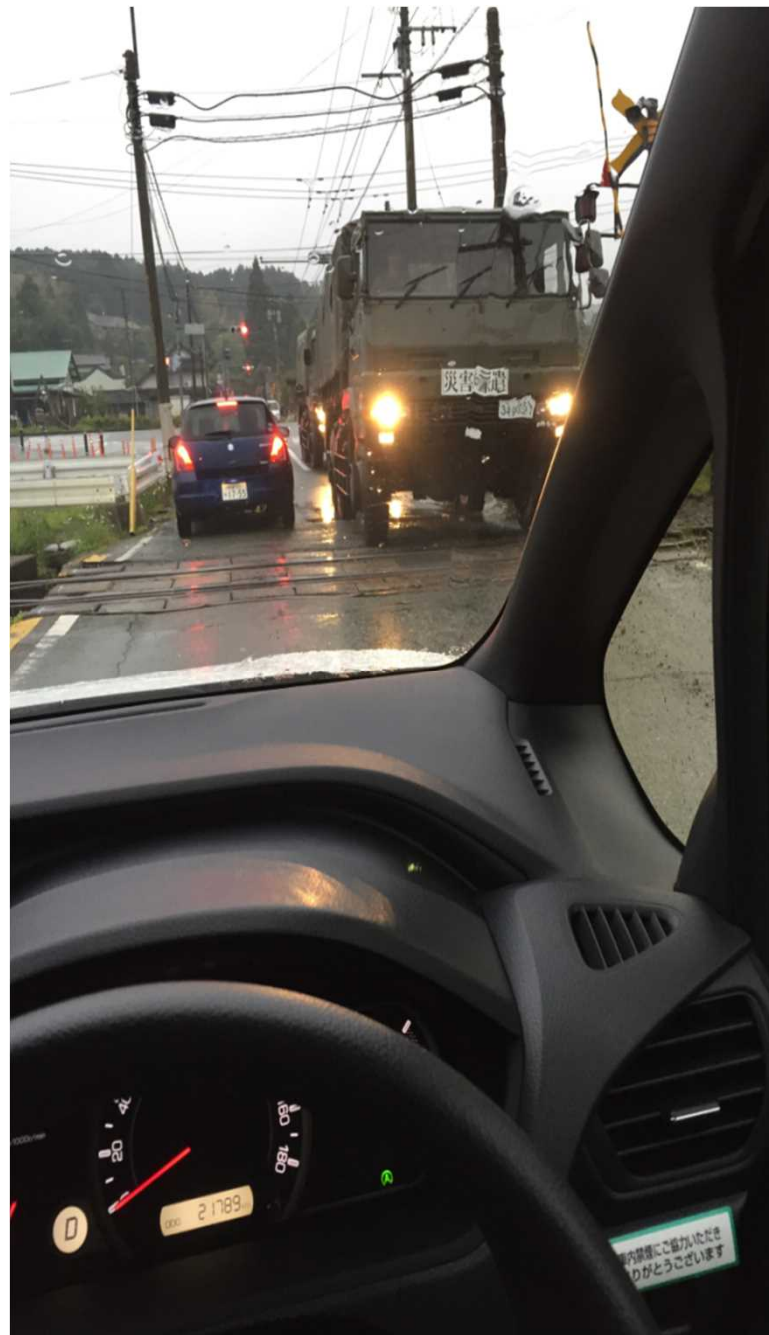
平成28年熊本地震 派遣時の状況



平成28年熊本地震 派遣時の状況



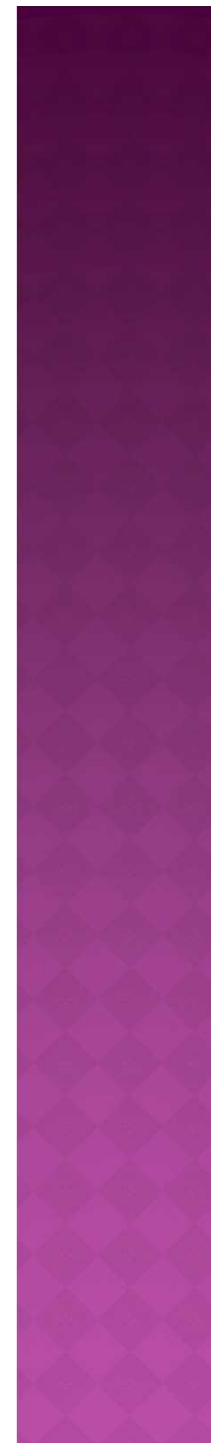
平成28年熊本地震 派遣時の状況



平成28年熊本地震 派遣時の状況



平成28年熊本地震 医療救護班の活動



1日目 5月8日（日） 12：30～20：00

- ◎ 徳島空港集合
広域医療課より事前説明
派遣出発式
- ◎ 徳島空港出発
- ◎ 福島空港到着
- ◎ レンタカーで熊本へ
- ◎ 宿舎到着（阿蘇市 大観荘）
- ◎ 第6班より活動の引継ぎ

2日目 5月9日（月） 7：30～19：45

- ◎ 阿蘇医療センター
 - ADRO本部に登録
 - ADRO本部で活動の確認
- ◎ 阿蘇保健所
 - 合同・全体ミーティング参加
 - 保健所内で連絡調整業務
 - 保健所内の持込物品確認（在庫管理）
- ◎ 西原村避難所訪問
 - 衛生管理状況調査（4か所）

3日目 5月10日（火） 8：20～24：00

- ◎ 阿蘇医療センター
ADRO本部で活動の確認
- ◎ 阿蘇保健所
合同ミーティング参加
保健所内の持込物品確認（在庫管理）
南阿蘇村調査中止で保健所待機
- ◎ 宿舎の持込物品の在庫確認と梱包
- ◎ 阿蘇医療センターで準夜勤務

4日目 5月11日（水） 8：15～17：45

- ◎ 宿舎の持込物品の最終梱包
機器、薬、注射、衛生材料、文具 など
- ◎ 宿舎の持込物品を徳島へ搬出
- ◎ 徳島県の公用車（2台）を門司港まで移動
- ◎ レンタカー（1台）を返却（福岡市内）
- ◎ 宿舎移動（大観荘 → アークホテル）

5日目 5月12日（木） 9：00～13：35

◎ 救護班活動のミーティング

時系列記録の確認

画像所見の情報共有

◎ 移動

ホテル → 福岡空港 → 徳島空港

◎ 解散

徳島空港

主として係わった支援 ①

西原村避難所訪問

衛生管理状況調査（4か所）

西原村避難所の状況

炊き出し

自衛隊 5月9日 又は 5月10日で終了

食料支援 → 地域の婦人会
地方のボランティア

おにぎり、パン → 製造者不明

弁当配布 → 製造所住所不明

単発炊き出し → ボランティア受付担当不明

※行政担当窓口が不明

※配送担当不明

※食数不明

西原村避難所の状況

生活環境

各避難所 → 集約化

学校の再開により

教室から体育館へ移動

1人当たりのスペースは減少

災害支援活動 衛生管理状況調査

- 西原村避難所の衛生管理状況調査を実施
 - 7か所を鹿児島チームと分担
 - 阿蘇保健所へ状況報告
 - 西原村保健師へ情報提供
- 徳島チームが調査を担当した避難所
 - ①にしはら保育園 ②構造改善センター
 - ③のぎく荘 ④山西小学校
- パンフレット配布（感染予防・食中毒防止）

災害支援活動

炊き出し状況

衛生状況

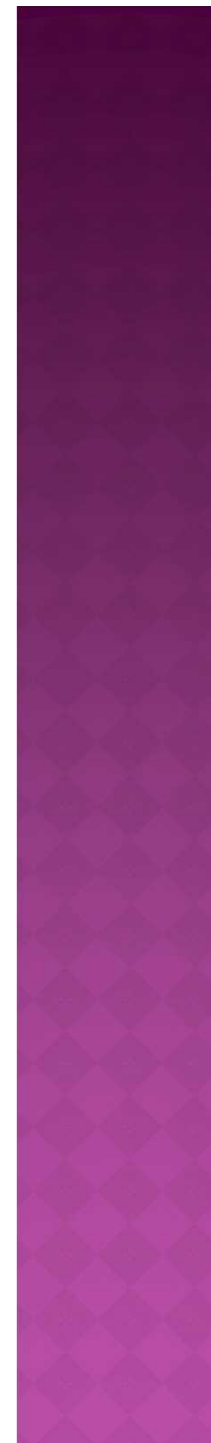
聞き取り調査

- ◎ 避難者数
- ◎ 炊き出しの有無、食数
- ◎ 炊き出しに係る責任者氏名
- ◎ 調理場所の有無
- ◎ 手洗いの有無
- ◎ 消毒薬の設置
- ◎ 器具等（使い捨て・陶器）
- ◎ 残品処理（廃棄・冷蔵庫保管）
- ◎ 水道の有無
- ◎ 従事者数
- ◎ メニュー
- ◎ パンフレットの掲示の有無
（感染予防・食中毒予防）

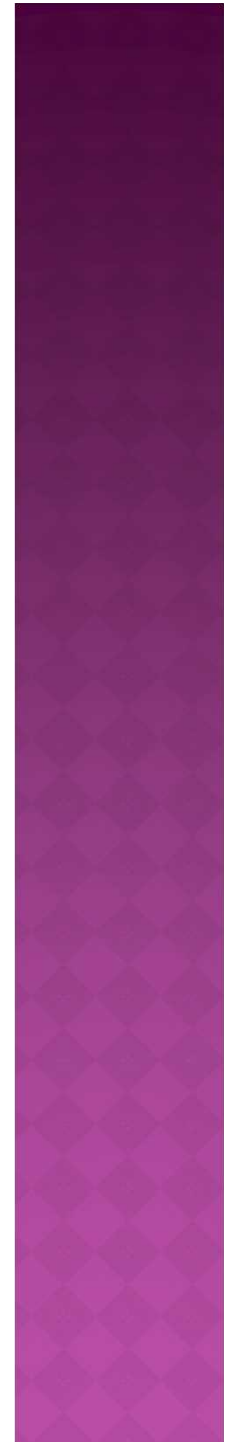
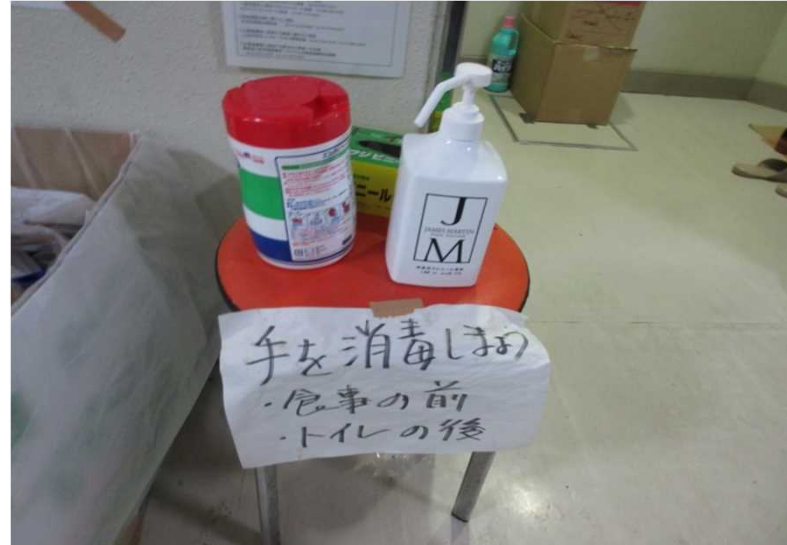
ゴミ処理の衛生状況



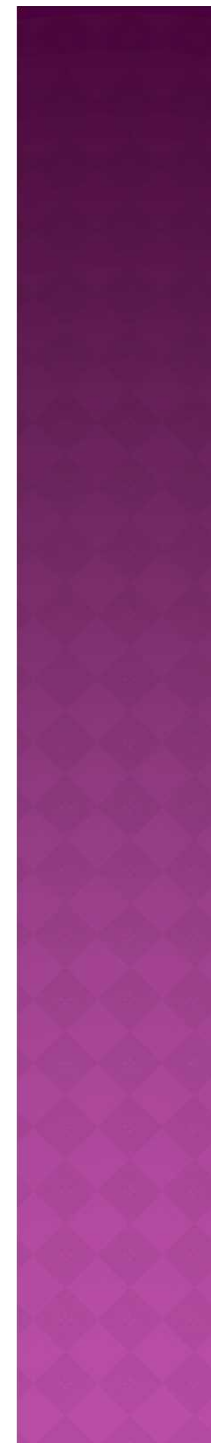
トイレの衛生状況



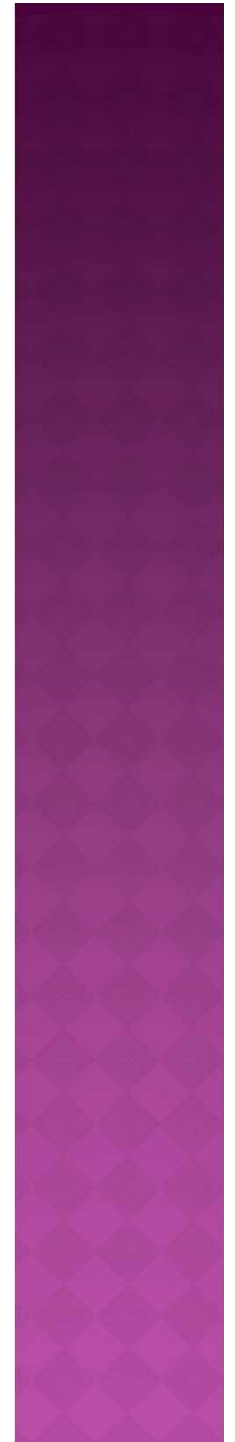
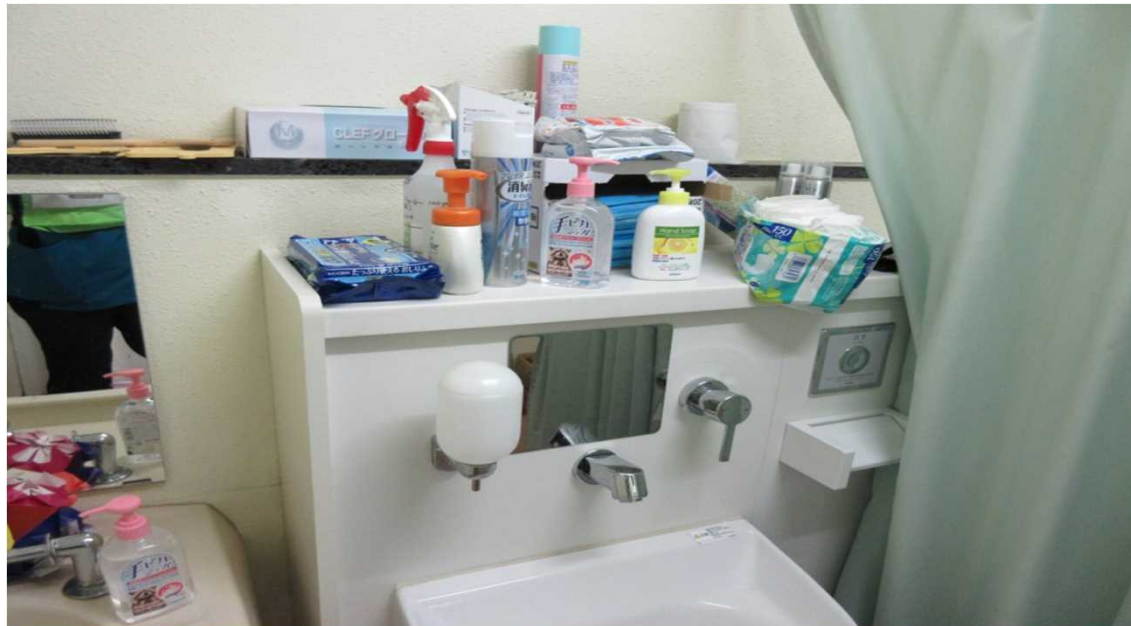
手洗いの衛生状況



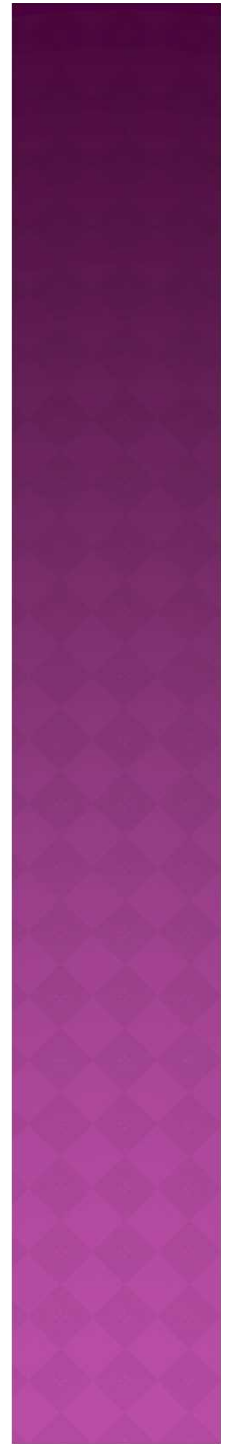
居住・食事の衛生状況



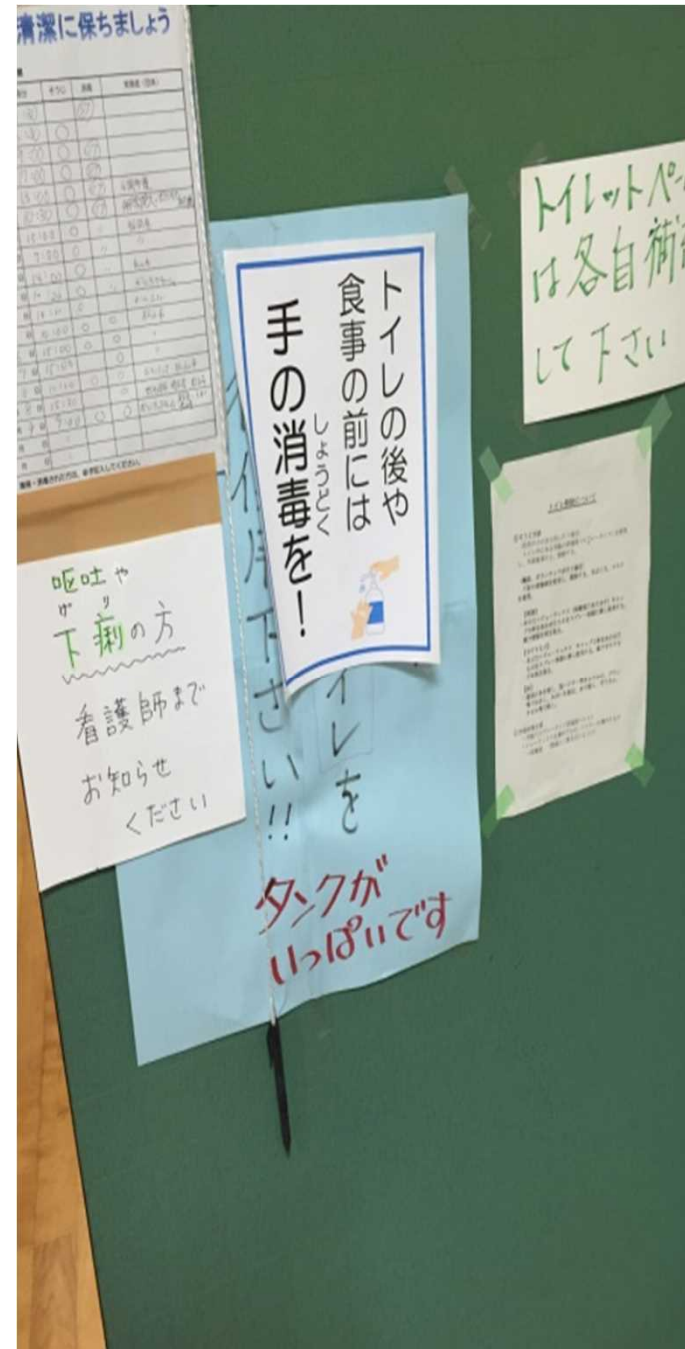
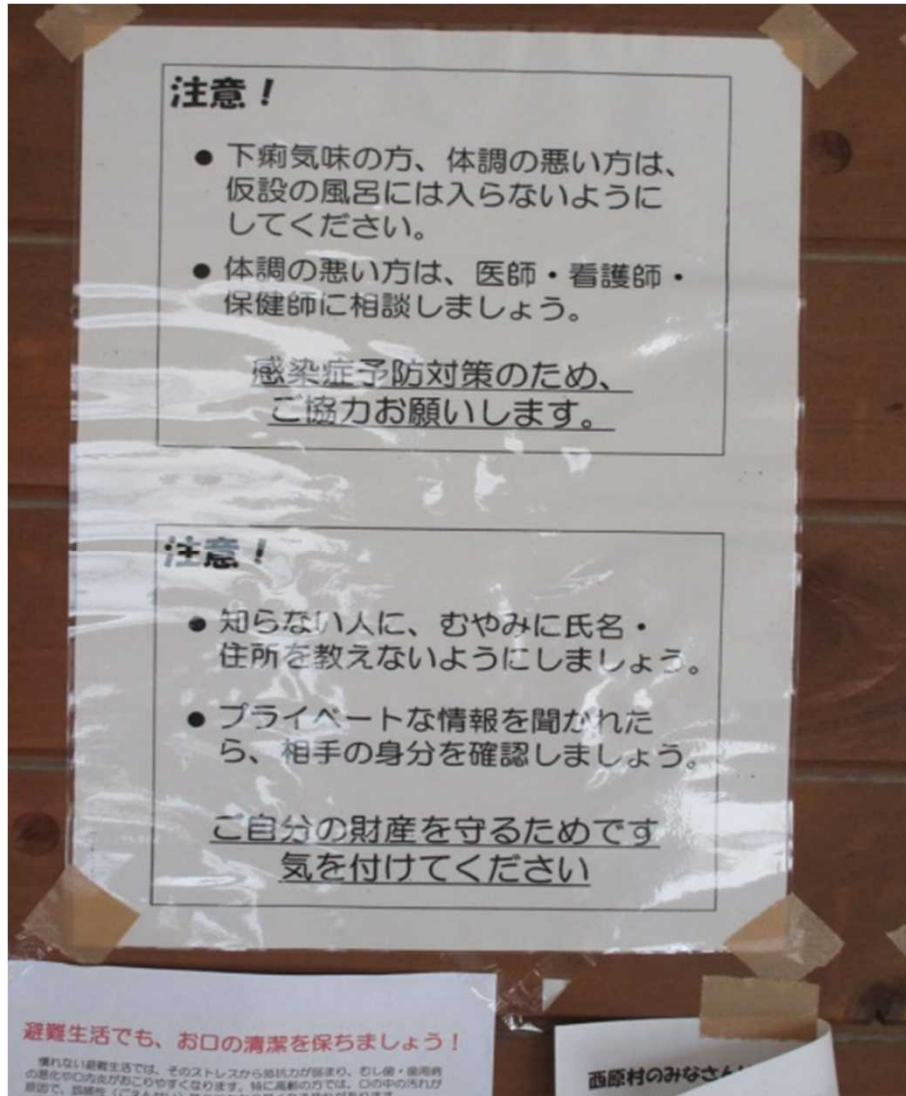
消毒剤の設置状況



避難所の保管状況



生活・衛生面の情報提供



災害支援活動

パンフレット配布（感染予防・食中毒防止）

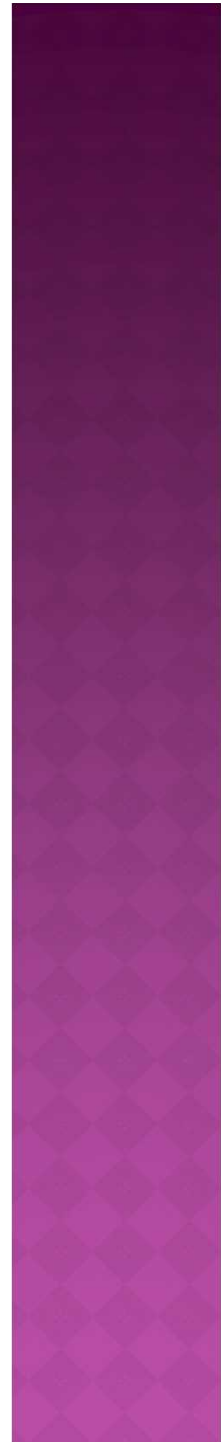
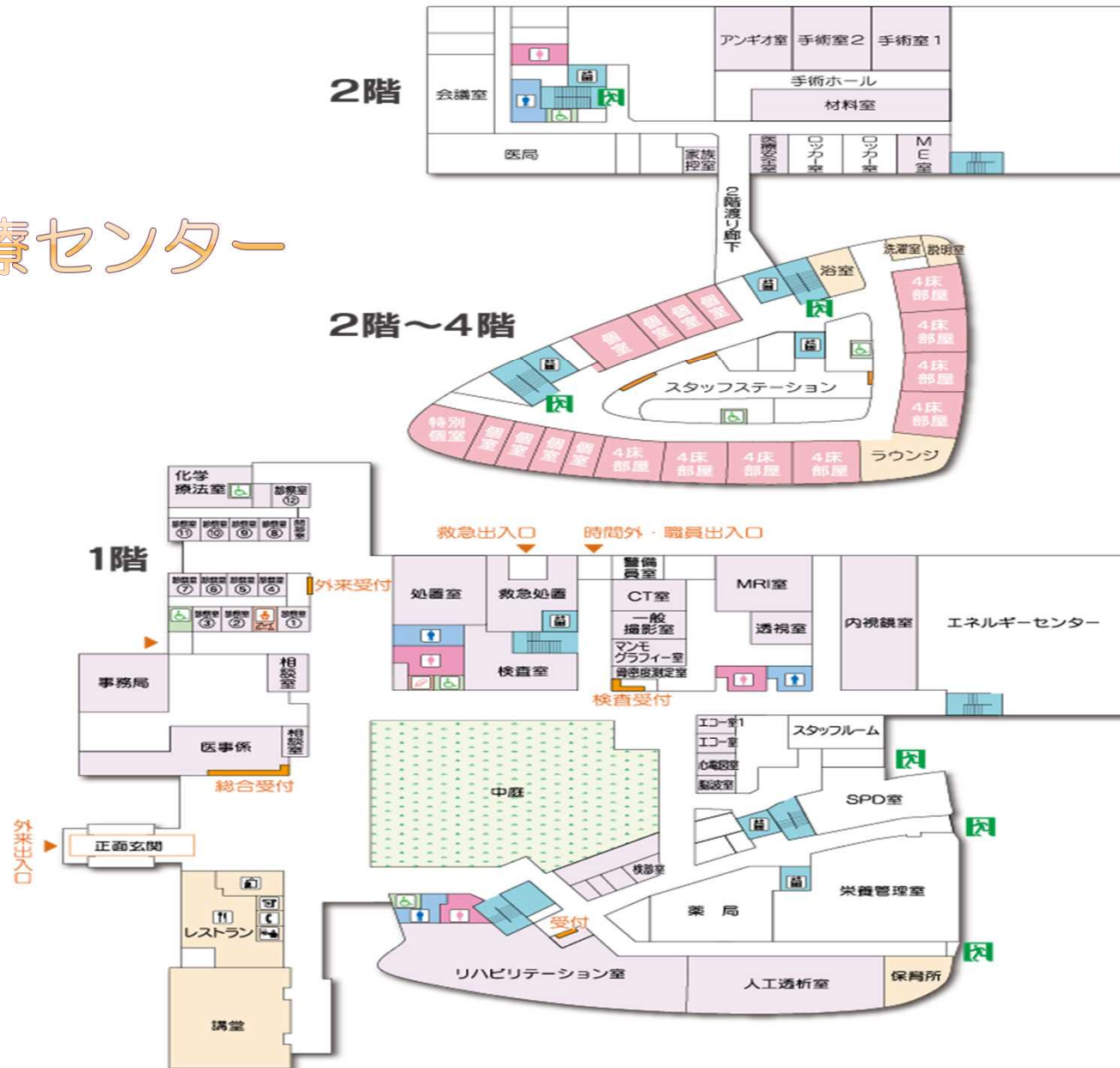
- ◎ 炊き出しをする皆様へ（炊き出しチェック表）
- ◎ 食中毒予防に配慮した炊き出し方法
- ◎ 災害時 食中毒予防の3原則
- ◎ 食中毒予防のために
（避難生活を過ごされる方へ）
- ◎ 避難所へ食料を提供される方々へ
（ボランティア、協力業者向け）
- ◎ 衛生的な手洗い
- ◎ 身の回りにハエ・蚊を増やさない（対処方法）

主として関わった支援 ②

阿蘇医療センター
準夜勤務



阿蘇医療センター



災害支援活動 準夜勤務

阿蘇医療センター 4階

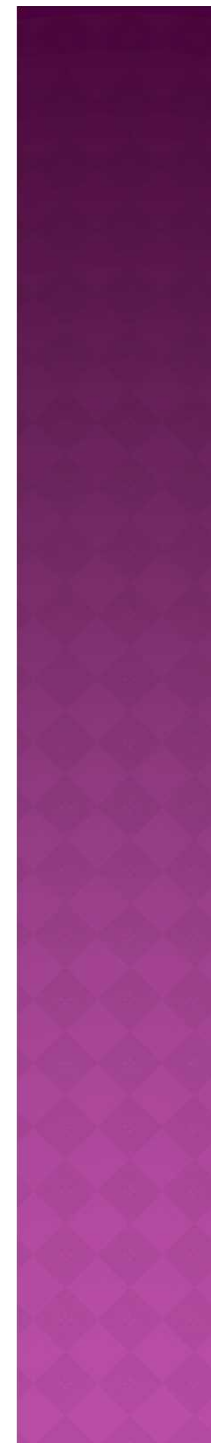
準夜勤務 16:00 ~ 00:00

- ◎バイタル測定
- ◎血糖値測定
- ◎食事介助
- ◎口腔ケア
- ◎更衣介助
- ◎処方介助
- ◎点滴と処方箋の照合
- ◎電子カルテ入力
- ◎経管栄養
- ◎服薬介助
- ◎排泄介助
- ◎就床介助
- ◎輸液管理

阿蘇医療センター 準夜勤務に際して

- ◎ 看護職能団体の一員としての役割を果たす
- ◎ 被災者の健康と生活を支える
- ◎ 被災者に対する直接的なケアをする
- ◎ 被災地でのマンパワー不足を補う
- ◎ 被災地で働く看護職の交代要員として活動する
- ◎ 被災地で働く看護職の心身負担を軽減する
- ◎ 被災した看護職を支えるよう努める

阿蘇医療センター



阿蘇医療センター 病院の概要

阿蘇中央病院 昭和25年に開院 60余年経過

平成25年1月 新病院の建設工事に着手

平成26年6月 本館完成 8月 開院

経営理念 「信頼と責任」

病院の名称

「阿蘇中央病院」から「阿蘇医療センター」へ刷新

阿蘇地域の中核病院として責任ある医療を果たしている

「地域医療機関との連携」 「救急医療体制の強化」

阿蘇医療センター 病院施設の概要

病棟 外来棟 中央診療棟 病棟

病床数 124床（一般：120床 感染症：4床）

高度医療施設 MRI装置 CT装置 血管撮影装置

緊急対応設備 救急ヘリ離発着場

阿蘇医療センター

診療科

◎内科

◎循環器科

◎整形外科

◎皮膚科

◎麻酔科

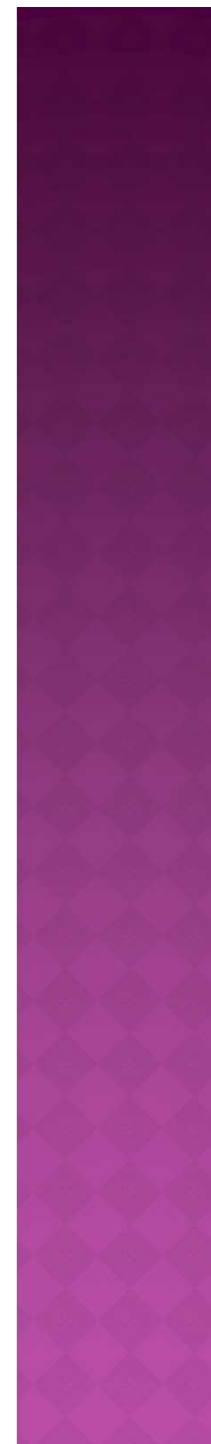
◎外科

◎小児科

◎脳神経外科

◎神経内科

◎リハビリテーション科



阿蘇医療センター 医師の診療科・専門部門

- ◎内科
- ◎小児科
- ◎神経内科
- ◎脳神経外科
- ◎消化器外科
- ◎腎臓内科
- ◎糖尿病・代謝・内分泌内科
- ◎リウマチ膠原病内科
- ◎乳腺内分泌外科
- ◎循環器内科
- ◎整形外科
- ◎内視鏡検査

医療救護班 派遣・活動に際して



災害支援派遣の事前準備として

- ◎ 個人災害支援用物品準備
 - 自己完結型
 - 災害支援用物品リスト参照
- ◎ 参加時の服装準備
 - 動きやすい服装
 - 耐久性のあるスニーカー
- ◎ 被災地の状況の把握
- ◎ 被災者の状況の把握
- ◎ 災害支援ナース活動マニュアル把握
- ◎ 看護技術の再学習

医療救護班の活動に際して

- ◎ 被災地の状況把握をする
- ◎ チームの一員として分担された役割を遂行する
- ◎ 自分の任務を確認し、完結する
- ◎ 多職種チームとの連携・調和を大切にする
- ◎ 十分なコミュニケーションを図る
- ◎ とともに活動をする
- ◎ すべてに関して批判をしない
- ◎ 被災地看護職が休める支援をする
- ◎ 連絡・報告・引継ぎを確実にする
- ◎ 二次的被災者とならない

平成28年熊本地震 復興



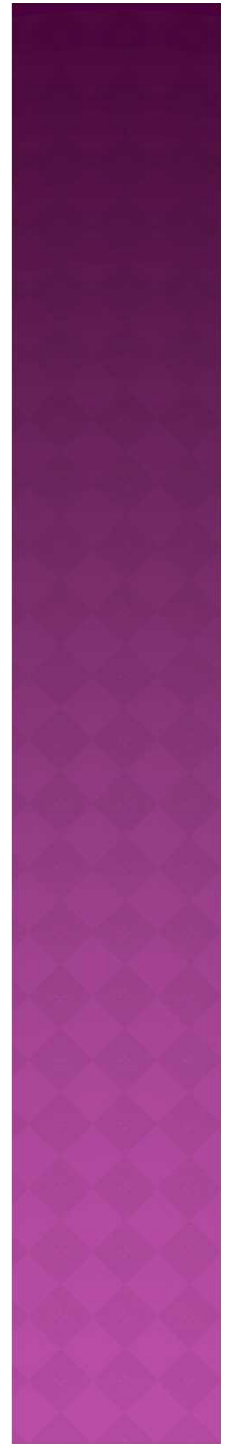
阿蘇山 絕景 復興



熊本県のアート発見



美味しいもの いっぱい



終わりに・・・

人のために役に立つということは・・・

必要な時に・・・

必要な手を・・・

差し伸べる・・・

医療に係る者や看護職の責務である

実感した活動でありました

ご清聴、ありがとうございました

